



## 音楽の贈り物

2011. 2. 19 17:15～ 音楽センター地下Aスタジオ

### プログラム ノート…

f| 東條 茂子 pf 吉田 彩

ロベルト・ムチンスキー

フルートとピアノのためのソナタ Op. 14

ムチンスキー(1929～2010)は1929年、シカゴで生まれたアメリカの作曲家です。

ジャズのようなリズムがおもしろい第1楽章、第2楽章は軽快なスケルツォ、第3楽章は冬の朝のすがすがしさを連想させます。躍動感あふれる第4楽章はフルートとピアノのかけあいが聴きどころです。1961年に作曲されたこのソナタは、アメリカの精神風土を感じさせる作品でしょう。

第1楽章 アレグロ デチーゾ Allegro deciso

第2楽章 スケルツォ Scherzo

第3楽章 アンダンテ Andante

第4楽章 アレグロ・コン・モト Allegro con moto

sop 大内 裕子 pf 庄司 美知子

ガエターノ・ドニゼッティ

歌劇「シャモニーのリンダ」より「私の心の光」

ガエターノ・ドニゼッティ(1797-1848)は、ロッシーニやベッリーニと共に19世紀イタリア・オペラを代表する作曲家です。1842年に初演された歌劇「シャモニーのリンダ」は、フランス、シャモニーの村娘リンダと、身分を貧しい画家と偽っている子爵カルロとの間の恋物語のオペラです。このオペラアリアは、カルロとの待ち合わせに遅れてしまったリンダが「ああ…遅すぎたわ…私の心の光であるカルロ、私はあなたのためだけに生きているの」と歌うアリアです。

吉丸 一昌作詞 中田 章作曲 早春賦

「早春賦」(そうしゅんぷ)は、1913年(大正2年)に発表された吉丸一昌作詞・中田章作曲の日本唱歌の1つです。吉丸一昌は、大正の初期に長野県の雪解け風景に感動し、この歌を書き上げたとされています。この早春賦は長い冬の雪の下に耐え、遅い春を待ちわびる心を歌ったものです。

エドゥアルド・ディ・カプア  
オー・ソーレ・ミオ

ナポリ語: 'O sole mio は『私の太陽』という意味で、1898年に作曲されたイタリアのカンツォーネ(ナポリ民謡)の有名な歌です。内容は「嵐が去ったあとの、さわやかな空気の中、輝く太陽はな

んで美しいのだろう。でも、私にはもう一つの太陽、もっと美しい太陽がある。ああ、私の太陽、君の輝く瞳！」と愛情豊かに歌います。

v| 木村 恭子 pf 竹内 啓子

シューベルト

バイオリンとピアノのためのソナタ 作品162 D574

この大変愛らしいソナタを作曲した当時のシューベルトは20歳。演奏をすること、教えること、また、作曲家として楽譜の出版もすることができずに、収入がほとんどない生活をおくっていました。しかし、多くの友人が、住むところや食べ物、または楽譜を買う代金を支払ってくれたりして、シューベルトを助けてくれました。そのため、シューベルトは生活の心配なくしてこのような美しい音楽を作曲することのみに熱中できた、そんな幸せを感じる曲です。

第1楽章 アレグロ モデラート

第2楽章 スケルツォ

第3楽章 アンダンティーノ

第4楽章 アレグロ ヴィヴァーチェ

桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室

TEL022-264-6627 FAX022-264-6642

HP 検索 [桐朋仙台教室 onkyo-sendai@tohomusic.ac.jp](http://onkyo-sendai@tohomusic.ac.jp)